

授業科目	整形外科学 スポーツ（講義・演習、演習・実習）（整形外科専門医）（臨床専門医コース）		
取得する専門医の名称	日本整形外科学会 整形外科専門医、日本体育協会 スポーツドクター		
区分・単位	講義・演習 2単位 演習・実習 4単位	関連分野等	スポーツ医学
年次・期別	1年次～2年次	曜日・時限	講義・演習 月・火 PM6:00～ 演習・実習 月～金 終日
教室	整形外科学研究室	担当者電話番号	086-235-7273
担当教員	【研究科】教授：尾崎敏文， 【病院】助教：阿部信寛，助教：古松毅之		
一般目標	運動器疾患・スポーツ医学に関する知識を習得し、実際の診療に活用する。 また、地域のスポーツ活動において医師として積極的に関わり、社会的貢献を果たす。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 運動器・スポーツ医学の基礎を習得する。 2) 運動器疾患・スポーツ傷害の整形外科的治療を実践する。 3) スポーツ活動の現場で、医師としての役割を発揮する。 		
講義概要	<p>講義・演習（尾崎，阿部，古松）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 運動器の基礎：神経・筋・骨格・関節のはたらきが複雑に絡み合った一連の運動を、バイオメカニカルな観点から理解することで、実際の診療活動に応用する能力を養う。 2) スポーツ医学の基礎：整形外科学分野が主体となる領域だが、スポーツ栄養学などの重要性も理解し、スポーツ活動に参加する国民全体の健康維持に貢献する。 3) 日本体育協会 スポーツドクターの資格取得 <p>演習・実習（尾崎，阿部，古松）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 運動器疾患の整形外科的治療 2) スポーツ傷害の整形外科的治療 3) 岡山県スポーツ協会主催の大会にドクターとして貢献 4) 国民体育大会に帯同ドクターとして参加 5) プロスポーツチームにおけるチームドクターとしての活動 		
テキスト・参考書等	整形外科学関連の論文、教材を自主的に検索し、最新の知識を習得する。		
成績評価基準 成績評価方法	講義・演習への参加状況、診療活動での貢献、および演習・実習での成果を総合的に判断する。		
研究活動との 関連	習得した知識・技術を、整形外科学・スポーツ医学の臨床研究に応用する。		

基礎実習	基礎研究カンファレンス（隔週）にて基礎的実験手法に対する知識を獲得する。 細胞培養、動物実験、RT-PCR、免疫染色等を2年次に実施する。
臨床実習	サッカークラブのチームドクターとして活動する。 外来診療補佐、帯同ドクター、医療サポートミーティングなどへの参加。 スポーツ傷害に対する知識を習得し、競技レベルに応じた治療方針を設定する能力を養う。
症例検討会	整形外科合同カンファレンス（火・木曜 AM7:45） スポーツグループカンファレンス（毎月）
講義日程	<p>上肢のスポーツ傷害</p> <p>頭部・体幹のスポーツ傷害</p> <p>下肢のスポーツ傷害</p> <p>前十字靭帯損傷のメカニズムと治療法の変遷</p> <p>スポーツ復帰を目指したリハビリテーション</p> <p>毎月第2月曜日 PM8:00 - 9:30 整形外科図書室</p>
本年度参加が望ましい学会等	<p>日本整形外科スポーツ医学会学術集会</p> <p>日本整形外科学会</p> <p>日本整形外科学会基礎学術集会</p> <p>Annual Meeting of Orthopaedic Research Society</p>